

# あいな里山公園情報

～国営明石海峡公園神戸地区だより～



## トピックス

- 321日ぶり サロン開催
- 展望台、頂上までスッキリ
- 公園作りの両輪 現場と会議
- 子どものいる里山の風景
- あいな写真館
- 環境教育の研究

## 秋のあいさつ

日ごと日没が早くなるこの時期、山全体が、少しずつ冬支度を始めているような感じすらさせてくれます。

そんな秋の里山を彩る植物達。左の写真を見て、何か思いつく事はありませんか？ これらは全て藍那で撮影されたもので、左上から①桔梗(キキョウ)、②女郎花(オミナエシ)、③萩(ハギ)、④撫子(ナデシコ)、⑤葛(クズ)、そして⑥尾花(オバナニススキ)です。

この6つに、藤袴(フジバカマ)を加えると「秋の七草」と呼ばれている草花達なのです。

## 製作・発行

国営明石海峡公園事務所 神戸地区現場事務所  
〒651-1104 神戸市北区山田町藍那字伝庫14  
TEL(078)593-3943 FAX(078)593-3944  
kobe@kokueiakashi.go.jp  
<http://www.kokueiakashi.go.jp>

あいな写真館

10/8 「フレセントガーデン」によるアンクルン演奏（しゃわせの村にてPR活動をしていただきました）

10/22 NPO法人自然と友達になろうによる野鳥観察のようす

10/22 「神戸市北区おやこコメづくり道場」によるイモ掘りイベントが行われました

10/13 相談ヶ辻の家において「あいな茶屋」による試食会が行われました

次回の発行は12月中旬頃の予定です

## 国営明石海峡公園神戸地区「あいな里山公園」における環境教育の研究

甲南大学環境総合研究所では、国営明石海峡公園神戸地区「あいな里山公園」において、幼稚園児から小学生、中学生、高校生、大学生そしてそれぞれの段階の学校教育者、および市民やNGO・NPOの指導者などを対象として、この公園における環境教育の普及・推進を行なうために、学校教育の現場や市民、そして世界の大学に情報を発信すると同時に、公園内でモデルとなる環境教育プログラムの作成・実施・検証、環境教育の活動支援および教材開発を目的とした研究活動を展開しています。

あいな里山公園は、阪神圏とともに神戸市・大阪市などの大都市周縁に位置し、都会の生活から離れて憩いの場となる「心の故郷」でもあります。また、あいなにおいて、環境教育の体験学習が行なわれることは、生命（いのち）に触れることによって「心の教育」も同時に進められることになります。さらに、こうした里山活動を通じて、日本の里山文化の研究も進み、その成果を国内外に発信することによって、世界の人々の「心の故郷」にもなる可能性を秘めています。

このように、地域や市民が主体的に活動する内発的発展による持続可能な循環型里山公園づくりを目指して研究活動を実施しています。今後、環境教育やその普及・推進に興味のある一般市民、そして公園内で活動されている参画事業者の方々には、講座の講師として御協力をお願いすることもあると思いますが、よろしくお願ひいたします。

甲南大学環境総合研究所 所長 谷口文章

兵庫県教育委員会・甲南大学主催の「10年教育者研修会」にて竹林管理の実習や里山の自然観察等を行なう（写真左）。APN（アジア太平洋地球変動研究ネットワーク）国際会議2006「環境倫理にもとづいた環境教育の国際ガイドラインの構築に向けて」のエクスカーションにて復元中の茅葺民家を紹介（写真中央）。市民参画事業者「あいな里山ビオパーク」の稲刈りへの協力（写真右）。

# 321日ぶり サロン開催

まず市民事業について  
ては、公園事務所より  
市民事業の位置づけ等  
についての説明があり  
ました。

10

A photograph showing three individuals in traditional dress standing in a dense, green, overgrown area. One person is wearing a red vest over a patterned shirt and white pants, another is in a light-colored jacket and dark pants, and the third is in a patterned top and dark pants. To the right, there is a large, woven basket resting on the ground, and a wooden rake leaning against it. The scene suggests a rural or agricultural setting.

れを怠ると、すぐに通れなくなってしまいま  
す。そこで、先日アク  
ションリサーチの取り  
組みのひとつである樹  
林整備の最初の一歩と  
して、展望台までの道  
が綺麗に整備されまし  
た。



### 作業風景



望台から淡路島を望む

## 公園ひのこの両輪 現場と会議

## ぐつの回輪 現場と会議

公園を整備していくためには、現場での工事作業も重要ですが、方針を定め、計画を練りこんでいく会議や事務作業も、無くてはならない作業です。

公園と子ども。将来  
公園を利用されるのは  
色々な方がいると思  
いますが、公園にとつて  
子どもは、不可欠と言

始まつた、アクションリサーチの方向を定める会議として、評議委員により、計画の内容が精査されました。

アクションリサーチは初めての試みであるため、計画から評価の方法まで、手探りの部分も多く、これまでその方向性を共有する作

で活動をされている方の中には、その頃の体験をさせてあげたいと いう思いの方も、多くいらっしゃいます。

# 子どものいる里山の風景

～教育現場からの公園活用～

公園と子ども。将来公園を利用するるのは色々な方がいると思いませんが、公園にとつて子どもは、不可欠と言

特に、秋にはそのような利用が多く「明石川子ども環境会議」と銘打たれた企画は、県民局によって運営され、

て里山の自然を学びに  
来られ、自然素材の工  
作などに取り組んでお  
られました。



# 子どものいる里山の風景

「教育現場からの公園活用」

つても過言ではないと思ひます。

特に、秋にはそのようないく利用が多く、「明石川子ども環境会議」と

て里山の自然を学びに  
来られ、自然素材の工  
作などに取り組んでお



## 第5回アクションリサーチ部会 出席評議委員

左から、前田工務課長、鈴木所長、明石海峡公園  
管理センター山田業務課長（センター長代理）、  
加藤評議委員、岩館調査設計課長、赤澤部会長、  
安保評議委員、天川評議委員